

第 66 回(通算 178 回)理事会議事録

日 時	令和 8 年 5 月 15 日 (金) 14:00～16:45	場 所	全解工連事務局 (東京都中央区日本橋 3-14-5 祥ビル 5F)																																				
出席者	[理事定数 19 名] 出席理事 18 名 <table border="0"> <tr> <td>井上 尚 (代)</td><td>高橋 仁</td><td>(欠席理事)</td><td>(出席監事)</td></tr> <tr> <td>小野 雅敏</td><td>新留 司</td><td>寺島 敏文</td><td>大森 圭樹</td></tr> <tr> <td>上原 満</td><td>福本 克也</td><td></td><td>喜讀 宣友</td></tr> <tr> <td>河野 富美男</td><td>堀井 太一</td><td>(オブザーバー参加)</td><td></td></tr> <tr> <td>木村 順一</td><td>室石 泰弘</td><td>岩崎 和義</td><td></td></tr> <tr> <td>古賀 純子</td><td>矢野 智孝</td><td>大野 雄一</td><td></td></tr> <tr> <td>小山 明男</td><td>山崎 篤男</td><td>酒井 健吉</td><td></td></tr> <tr> <td>坂田 幹夫</td><td>山本 和宏</td><td></td><td>(代): 代表理事</td></tr> <tr> <td>平 典明</td><td>稲村 行彦 (執)</td><td></td><td>(執): 業務執行理事</td></tr> </table>			井上 尚 (代)	高橋 仁	(欠席理事)	(出席監事)	小野 雅敏	新留 司	寺島 敏文	大森 圭樹	上原 満	福本 克也		喜讀 宣友	河野 富美男	堀井 太一	(オブザーバー参加)		木村 順一	室石 泰弘	岩崎 和義		古賀 純子	矢野 智孝	大野 雄一		小山 明男	山崎 篤男	酒井 健吉		坂田 幹夫	山本 和宏		(代): 代表理事	平 典明	稲村 行彦 (執)		(執): 業務執行理事
井上 尚 (代)	高橋 仁	(欠席理事)	(出席監事)																																				
小野 雅敏	新留 司	寺島 敏文	大森 圭樹																																				
上原 満	福本 克也		喜讀 宣友																																				
河野 富美男	堀井 太一	(オブザーバー参加)																																					
木村 順一	室石 泰弘	岩崎 和義																																					
古賀 純子	矢野 智孝	大野 雄一																																					
小山 明男	山崎 篤男	酒井 健吉																																					
坂田 幹夫	山本 和宏		(代): 代表理事																																				
平 典明	稲村 行彦 (執)		(執): 業務執行理事																																				
議 案	第 1 号議案 令和 7 年度事業報告書の承認について 第 2 号議案 令和 7 年度収支決算報告書の承認について 第 3 号議案 賛助会員入会審査について (㈱Archi Village) (継続審議) 第 4 号議案 令和 8 年度研究助成金支給及び令和 7 年度分の研究発表会について 第 5 号議案 安全優良職長厚生労働大臣顕彰候補者の推薦ブロックについて 第 6 号議案 全解工連 青年部会第 1 回全国大会の開催について 第 7 号議案 登録解体工事講習実施地の追加とそれに伴う令和 8 年度事業計画及び令和 8 年度収支予算の修正について 第 8 号議案 役員の選出に関する規程の改正について 第 9 号議案 第 15 回通常総会の議案及び報告事項等について 第 10 号議案 国土交通大臣登録試験及び国土交通大臣登録講習の登録更新について 第 11 号議案 第 17 回通常総会の開催地について																																						
協議事項	(1) 講師の選任に関する基準等について (2) 解体工事施工技士登録者名簿について																																						
業務執行状況報告	(1) 第 65 回 (通算 177 回) 理事会 (3/4) (2) 解体工事施工技士登録更新講習 (結果) 及び新規登録 (結果) (3) 令和 7 年度第 2 回全解工連ビジョン委員会 (3/12) (4) 貨物自動車運送事業法における廃棄物の運送に関する取扱いについて (5) 賛助会員の退会 (6) (一社) 建設技能人材機構 (JAC) への入会 (4/1) (7) 事務局職員の入職 (4/1) (8) 能力評価申請手数料の全額支援の延長 (建設業振興基金) (9) 解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会分科会 (4/27) (10) 令和 8 年度第 1 回解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会 (4/27) (11) 登録解体基幹技能者講習 (経過) (12) 全解工連 青年部会と自由民主党青年局との意見交換会 (5/13) (13) 令和 8 年度第 1 回全解工連 青年部会ブロック代表者会議 (5/13) (14) 令和 8 年度第 1 回登録解体基幹技能者講習委員会 (5/14)																																						

	(15) 令和 8 年度研究助成金支給審査委員会 (5/15) (16) 解体工事業イメージアップポスターの制作 (17) 第 8 回国際 建設・測量展の実施体制等 (6/17～6/20) (18) 解体工事施工技術講習案内チラシの制作・配布 (19) 解体技能者能力評価の認定状況 (20) 解体工事における労務費の基準値について (非木造解体工事) (21) 登録解体基幹技能者更新講習の E ラーニング化について (22) 産業廃棄物適正処理推進基金への出えんに対する感謝状 (23) 令和 8 年春の褒章について (井上尚会長の黄綬褒章受章) (24) 令和 8 年度国土交通大臣顕彰推薦者の全解工連枠について (25) 会員団体主催会議等への出席 (結果) ① 関東ブロック会議 (3/5) ② 近畿ブロック会議 (3/18) ③ 東北・北海道ブロック総会 (4/20) ④ 九州・沖縄ブロック会議 (4/23) (26) 外部の会議等への出席 (結果) ① 環境省：災害廃棄物処理支援ネットワーク意見交換会 (3/13) ② 環境省 ((株) 環境管理センター委託)：R7 年度石綿飛散防止対策検討会 (3/16) ③ 環境省 ((株) 環境管理センター委託)：第 3 回災害時における石綿飛散防止に係る取り扱いマニュアル検討会 (3/19・web) ④ 環境省：中央環境審議会・フルオロカーボン小委員会 (第 1 回 3/27web、第 2 回 4/7web、第 3 回 5/12web) (27) その他、員外理事からの報告 (① 日建連 ② 全建 ③ 全産連 ④ 学識者)、各ブロックの活動、周辺状況等
資 料	資料 66-1 第 65 回理事会議事録 (写し) 資料 66-2 解体工事施工技士登録更新講習会場別申込者数等一覧 資料 66-3 令和 7 年度第 2 回全解工連ビジョン委員会議事録 (写し) 資料 66-4 国土交通省からの事務連絡 資料 66-5 JAC 年会費及び無料出前講座パンフレット 資料 66-6 能力評価申請手数料の全額支援について (チラシ) 資料 66-7 令和 8 年度第 1 回解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会議事録 (案) 資料 66-8 登録解体基幹技能者講習会場別申込者数等一覧 資料 66-9 意見交換会次第 資料 66-10 令和 8 年度第 1 回全解工連青年部会ブロック代表者会議議事次第 資料 66-11 令和 8 年度第 1 回登録解体基幹技能者講習委員会開催通知 資料 66-12 令和 8 年度研究助成金支給審査委員会議事次第 資料 66-13 解体工事業イメージアップポスター 資料 66-14 第 8 回国際 建設・測量展の実施体制表 資料 66-15 解体工事施工技術講習案内チラシ 資料 66-16 解体技能者能力評価数の推移 資料 66-17 解体工事における労務費の基準値 (非木造解体工事) 資料 66-18 E ラーニング実施費用見積 資料 66-19 産業廃棄物適正処理推進基金への出えんに対する感謝状 資料 66-20 褒章案内状 資料 66-21 解体工事から発生する建設廃棄物の排出量に関するアンケート調査の協力依頼

資料 66-22 技術講習講師の基準（国土交通省）
 資料 66-23 解体工事施工技士登録者名簿 web 化の概要及び見積
 資料 66-24 令和 7 年度事業報告書（案）
 資料 66-25 令和 7 年度収支決算報告書（案）
 資料 66-26 賛助会員入会申込書（写し）及び会社概要等
 資料 66-27 令和 8 年度研究助成金支給（案）及び研究発表会開催（案）
 資料 66-28 安全優良職長厚生労働大臣顕彰候補者過年度の推薦者一覧
 資料 66-29 全解工連 青年部会第 1 回全国大会開催案内
 資料 66-30 登録解体工事講習会場別申込者数等一覧、令和 8 年度事業計画（修正案）及び令和 8 年度収支予算（修正案）
 資料 66-31 役員の選出に関する規程（改正案）
 資料 66-32 第 15 回通常総会の議案及び報告事項（案）
 資料 66-33 登録証（写し）

[理 事 会 成 立 報 告]

定刻の午後 2 時 00 分に至り、庄司事務局長が出席者の確認を行い、理事 19 名のうち 18 名の出席があるので、定款第 35 条の規定により理事会を開催し決議することができることを議場に報告した。また（一社）日本建設業連合会の岩崎和義常務執行役、元国土交通省の大野雄一氏及び酒井健吉青年部会長のオブザーバー参加を議場に諮ったところ出席理事全員一致で承認した。

[議 長 選 出 等]

井上尚会長の開会の挨拶の後、定款第 34 条の規定により、井上尚会長が議長に就任し議案の審議に入った。

[議 事 録 署 名 人 選 出]

井上議長が定款第 36 条第 2 項の規定により、本理事会に出席した井上尚会長、大森圭樹監事及び喜讀宣友監事が議事録署名人となることを確認した。

- 井上 尚（山形県山形市久保田 2-1-47／（一社）山形県解体工事業協会代表理事）
- 大森圭樹（東京都世田谷区喜多見 8-15-35 K・田中ビル 206 号／税理士法人 FOKs 代表社員）
- 喜讀宣友（熊本県熊本市中央区水前寺 6-27-20／（一社）熊本県解体工事業協会代表理事）

[職 務 執 行 状 況 報 告]

稲村専務理事が、定款第 24 条第 5 項の規定に従い、会長及び専務理事の職務執行状況について報告した。

(1) 第 65 回（通算 177 回）理事会（3/4）

[報告者：稲村専務理事]

「令和 8 年 3 月 4 日に第 65 回（通算 177 回）理事会を開催した。資料 66-1 は議事録の写しである。」

(2) 解体工事施工技士登録更新講習（結果）及び新規登録（結果）

[報告者：稲村専務理事]

「解体工事施工技士登録更新講習は 3 月 27 日の東京②会場ですべて終了した。事業計画 1,200 名に対して申込者は 1,219 名であった。更新手続きのみを含めた登録更新者数は、事業計画

4,000名に対して4,197名、新規登録者は1,386名で登録者合計は5,583名であった。資料66-2は会場別申込者数等一覧である。」

(3) 令和7年度第2回全解工連ビジョン委員会 (3/12)

[報告者：稲村専務理事]

「令和7年度第2回全解工連ビジョン委員会を3月12日に開催し、小委員会「project47」の立ち上げと次期委員会への引き継ぎ事項等について協議した。資料66-3は議事録の写しである。」

(4) 貨物自動車運送事業法における廃棄物の運送に関する取扱いについて

[報告者：稲村専務理事]

「前回の理事会で山崎理事から貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律の施行について報告していただいたが、その後国土交通省から事務連絡が出され、結論としては廃棄物の運搬と処理を一体的に実施する場合においては法の許可等を要しないとの見解が示された。資料66-4は3月16日に国土交通省から出された事務連絡である。」

(5) 賛助会員の退会（クラフトバンク㈱、㈱前田製作所、AIGパートナーズ㈱）

[報告者：稲村専務理事]

「令和8年3月末でクラフトバンク㈱と㈱前田製作所、4月末でAIGパートナーズ㈱が賛助会員を退会した。」

(6) （一社）建設技能人材機構（JAC）への入会 (4/1)

[報告者：稲村専務理事]

「日建連及び全建の推薦をいただき令和8年4月1日付で（一社）建設技能人材機構（JAC）の正会員団体として入会した。それにより、全解工連正会員団体傘下の会員企業が特定技能1号外国人を受け入れる場合の年会費が不要になる。資料66-5は特定技能の受入費用についてと制度の概要の無料出前講座の案内チラシの写しである。」

(7) 事務局職員の入職 (4/1)

[報告者：稲村専務理事]

「令和8年4月1日から事務局職員として小澤浩治氏が入職した。」

(8) 能力評価申請手数料の全額支援の延長（建設業振興基金）

[報告者：稲村専務理事]

「（一財）建設業振興基金が令和7年8月から実施していたCCUS能力評価手数料の全面支援は、令和8年の4月以降も当面の間延長されることになった。資料66-6は案内チラシの写しである。」

(9) 解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会分科会 (4/27)

[報告者：稲村専務理事]

「令和8年4月27日に解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会分科会を開催し、主に技術編テキストの改訂箇所について協議した。」

(10) 令和8年度第1回解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会 (4/27)

[報告者：稲村専務理事]

「令和8年4月27日に令和8年度第1回解体工事施工技術講習テキスト改訂委員会を開催した。㈱ユニバースの法規編テキスト改訂案の精査と来年度の技術編テキスト全面改訂の方向性を協議した。資料66-7は議事録案である。」

(11) 登録解体基幹技能者講習（経過）
[報告者：稲村専務理事] 「令和8年度の登録解体基幹技能者講習は2回に分けて9会場で実施する。5月8日から受付を開始した。資料66-8は会場別申込者数等一覧である。」
(12) 全解工連 青年部会と自由民主党青年局との意見交換会（5/13）
[報告者：稲村専務理事] 「令和8年5月13日に全解工連青年部会と自由民主党青年局とで自由民主党本部において意見交換会を行った。資料66-9は意見交換会次第である。」 [酒井オブザーバー]：「短時間ではあったが平沼青年局長を始め多くの青年局の方が出席され、有意義な意見交換を行うことができた。今後も継続していきたい。」
(13) 令和8年度第1回全解工連 青年部会ブロック代表者会議（5/13）
[報告者：稲村専務理事] 「令和8年5月13日に令和8年度第1回全解工連青年部会ブロック代表者会議を開催し、部会長及び副部会長全員の辞任に伴う役員の選任を行った。これは役員の選出に関する規程の改正に伴い青年部会長が理事に推薦されることとなり、全解工連理事の任期と合わせるための措置である。青年部会長は酒井健吉氏、副部会長に小野智司氏、久野雄紀氏及び黒田謙人氏が再任された。資料66-10は議事次第である。」
(14) 令和8年度第1回登録解体基幹技能者講習委員会（5/14）
[報告者：稲村専務理事] 「令和8年5月14日に令和8年度第1回登録解体基幹技能者講習委員会を開催し、本年度の修了考查問題を検討した。資料66-11は開催通知である。」
(15) 令和8年度研究助成金支給審査委員会（5/15）
[報告者：稲村専務理事] 「令和8年度研究助成金支給審査委員会を令和8年5月15日に開催し、申請に対する支給金額等を協議した。資料66-12は議事次第である。」
(16) 解体工事業イメージアップポスターの制作
[報告者：稲村専務理事] 「令和8年度の解体工事業イメージアップポスターを本年度も日本キャタピラー合同会社の全面協力のもと制作する。資料66-13はポスターの縮尺版である。」
(17) 第8回国際 建設・測量展の実施体制等（6/17～6/20）
[報告者：稲村専務理事] 「第8回国際 建設・測量展（CSPI）が令和8年6月17日から20日までの4日間、幕張メッセで開催され全解工連も昨年に続き出展する。矢野実行委員長に全解工連のPR資料を作成していただき、その他は前回同様に協賛賛助会員のブースを設ける。当日の実施体制は青年部会の全面協力と昨年に引き続き東京都、埼玉県及び千葉県各協会からサポート要員を出していただけることとなった。資料66-14は実施体制案である。」
(18) 解体工事施工技術講習案内チラシの制作・配布
[報告者：稲村専務理事] 「国土交通省から解体工事登録業者のレベル向上を図るために解体工事施工技術講習を活用したいとの話があった。具体的にはチラシを作成してくれば、各自治体を通じて登録業者に配布するとのことである。また本年度は25歳以下の受講者に受講料の半額助成も行うことから、その宣伝の意味も込めてチラシを作成することにした。2種類作成し、矢野理事に会

員向けチラシ、高橋副会長に登録業者向けチラシの原案を作成いただいた。資料 66-15 はチラシの現物である。」
(19) 解体技能者能力評価の認定状況 [報告者：稲村専務理事] 「令和 8 年 3 月末現在の解体技能者能力評価数は、累計でレベル 4 が 549 人、レベル 3 が 791 人、レベル 2 が 653 人で合計 1,993 人である。資料 66-16 は解体技能者能力評価数の推移である。」
(20) 解体工事における労務費の基準値について（非木造解体工事） [報告者：稲村専務理事] 「前回の理事会で、国土交通省が公表した木造住宅の解体工事における労務費の基準値について報告したが、引き続いて非木造（RC 造）についての基準値も公表された。資料 66-17 は解体工事における非木造解体工事の労務費の基準値：東京都版である。」
(21) 登録解体基幹技能者更新講習の E ラーニング化について [報告者：高橋副会長] 「登録解体基幹技能者講習は令和 10 年から更新講習が始まる。国土交通省への変更申請は必要だが、E ラーニングでの実施を検討している。事務局で 4 社からプレゼン及び見積もりを取った中から 1 社を選定して再度高橋もプレゼンを受けた。今後内容を精査したうえで、国土交通省への変更申請事項も含めて審議事項にあげたい。資料 66-18 は 4 社から見積もりを取った中で最高値の金額の見積書である。裏を返せばどこも契約してもこれ以上にはならないということである。」
(22) 産業廃棄物適正処理推進基金への出えんに対する感謝状 [報告者：稲村専務理事] 「全解工連が産業廃棄物適正処理推進基金へ出えんしたことに対して環境省環境再生・資源循環局長名で感謝状が届いた。資料 66-19 は感謝状の縮尺版である。」
(23) 令和 8 年春の褒章について（井上尚会長の黄綬褒章受章） [報告者：稲村専務理事] 「全解工連は今回褒章受章の新規認定団体となり、井上尚会長の黄綬褒章受章が決定した。5 月 25 日に国土交通省で伝達式があり、その後皇居において天皇陛下への拝謁が行われる。資料 66-20 は国土交通省からの伝達式案内状の写しである。」
(24) 令和 8 年度国土交通大臣顕彰推薦者の全解工連枠について [報告者：稲村専務理事] 「前回の理事会で、建設マスターの 2 人目の推薦候補者の変更を承認いただき国土交通省へ提出したが、全解工連の推薦枠は 1 名であり 2 名以上の推薦は受け付けられないとの回答であった。今後は推薦枠を増やしていただけるように働きかけていく。」
(25) 会員団体主催会議等への出席（結果） [報告者：稲村専務理事] 「前回の理事会以降、以下のブロック会議に出席した。」 ①関東ブロック会議（3/5） ②近畿ブロック会議（3/18） ③東北・北海道ブロック総会（4/20） ④九州・沖縄ブロック会議（4/23）

(26) 外部の会議等への出席（結果）

[報告者：稲村専務理事]

「前回の理事会以降、以下の外部の会議等へ出席した。」

- ①環境省：災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）意見交換会（3/13）
- ②環境省（（株）環境管理センター委託）：R7 年度石綿飛散防止対策検討会（3/16）
- ③環境省（（株）環境管理センター委託）：第3回災害時における石綿飛散防止に係る取り扱いマニュアル検討会（3/19・web）
- ④環境省：中央環境審議会・フルオロカーボン小委員会（第1回 3/27web、第2回 4/7web、第3回 5/12web）

(27) その他、員外理事からの報告（①日建連②全建③全産連④学識者）、各ブロックの活動、周辺状況等

その他、井上議長が員外理事からの報告及び各ブロックの状況等について、各理事に報告を求めたところ以下の発言があった。

[小山理事]：「資料 66-21 は小山研究室で進めている“解体工事から発生する建設廃棄物の排出量に関するアンケート調査の協力依頼”である。現在の企業登録は 35 社で件数は 200 件超であるが地方によりばらつきが多い。引き続き協力をお願いしたい。」

[室石理事]：「中東情勢の悪化によりナフサの供給不足が全産連会員企業でも問題になっており、今後要望書を提出する予定である。」

[山崎理事]：「全建も同様に中東情勢悪化の影響を受けており、会員へ緊急アンケートを行い資材不足等の現状を鑑みて工期延長等を要望していく。」

[平副会長]：「ブロック会議に関して、年に 3 回行っているところもあれば 1 回しか行っていないところもある。ばらつきの解消が必要だと思う。」

[坂田理事]：「ブロック会議の開催回数については、全解工連から呼びかけていただけるとありがたい。」

[協 議 事 項]

報告終了後、第 1 号協議事項及び第 2 号協議事項の協議に入った。

第 1 号協議事項 講師の選任に関する基準等について

議長の指示により平副会長が、資料 66-22 に基づき講師の選任に関する基準等について説明した。

[平副会長]：「資料 66-22 は解体工事業に係る登録等に関する省令の一部抜粋である。建設リサイクル法に基づく登録講習である解体工事施工技術講習の講師の要件が示されている。具体的には技術管理者となった経験を有する者であり、解体工事施工技士有資格者等が該当する。全解工連では現在 4 種類の講習会を行っているが、国土交通省の講師基準があり、届出が必要なのは解体工事施工技術講習と登録解体工事講習だけである。今後のガバナンスの点からも、それぞれの講習の講師基準を内規として定めた方が良いと思う。」

[矢野理事]：「現在の講師体制は技術講習を担当する技術・安全委員会とブロックから推薦された登録解体基幹技能者講習講師の大きく二つの体制がある。」

[木村副会長]：「将来的にはブロックごとに均等に講師がいるようにして、ばらつきがなくなることが望ましい。」

協議の結果、技術・安全委員会で講師の基準案を作成することを出席理事全員一致で決議した。

第 2 号協議事項 解体工事施工技士登録者名簿について

議長の指示により庄司事務局長が資料 66-23 に基づき、解体工事施工技士登録者名簿の web 化について説明した。

[庄司事務局長]：「平副会長からの提案事項である。解体工事施工技士登録者名簿を毎年発行

して、新規合格者の所属企業、正会員団体所属企業及び自治体等へ配布しているが、昨今その名簿を利用して社員の転職勧誘が行われているとの声が出ている。それを受けて、印刷物を廃止し、登録基幹技能者のような検索システムに移行した場合の開発案と費用見積もりが資料 66-23 である。」

[矢野理事]：「印刷物であろうと web であろうと、そもそも名簿自体が不要ではないか。」

[河野理事]：「行政としては、人数は把握したいという要望はあるようだ。」

協議の結果、公開はしない内部資料としてのデータベース化を前提として、印刷物の廃止を次回理事会の審議事項とすることを出席理事全員一致で決議した。

[議 案 審 議]

報告及び協議終了後、第 1 号議案から第 11 号議案の審議に入った。

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告書の承認について

議長の指示により周藤事業部長が資料 66-24 に基づき、令和 7 年度事業報告書の承認について説明した。

[周藤事業部長]：「資料 66-24 は令和 7 年度事業報告書（案）である。例年通り、会員の異動等の法人の基本情報、講習会や試験等の公益事業の実施結果及び総会、理事会や各委員会等の法人管理・運営状況を報告している。例年と異なるのは、国際 建設・測量展に全解工連として初めて出展したことである。」

審議の結果、事務局提出の令和 7 年度事業報告書（案）を出席理事全員一致で承認した。

第 2 号議案 令和 7 年度収支決算報告書の承認について

議長の指示により庄司事務局長が資料 66-25 に基づき、令和 7 年度収支決算報告書（案）について説明した。

[庄司事務局長]：「資料 66-25 は、令和 7 年度収支決算報告書（案）である。予算と大きく異なるのは、収入の部では、解体工事施工技術講習の申込者数が 100 人以上下まわったので、265 万円ほどマイナスとなった。それ以外は概ね予算をクリアしている。支出の部は概ね予算内で収まった。事業活動収支は 2,109 万円の赤字予算を組んでいたが、1,575 万円の黒字となった。投資活動収支は 3 月 4 日の理事会で承認をいただいて登録解体工事講習実施積立預金に 2,000 万円及び登録解体基幹技能者講習実施積立預金に 1,000 万円を積み立てた。従って投資活動収支は 2,760 万円のマイナスで、当期収支は 1,185 万円の赤字となり、次期繰越金は 5,040 万円となった。」

[大森監事]：「数年来の懸案だった収支相償は令和 7 年度決算で達成した。」

審議の結果、事務局提出の令和 7 年度収支決算報告書（案）を出席理事全員一致で承認した。

第 3 号議案 賛助会員入会審査について（㈱Archi Village）（継続審議）

議長の指示により庄司事務局長が資料 66-26 に基づき、賛助会員入会申請について説明した。

[庄司事務局長]：「資料 66-26 は、㈱Archi Village の賛助会員入会申込書及び会社概要等の写し、そして入会承認前の不適切な営業活動に関する経緯報告とお詫び状である。前回の理事会で説明資料不足により継続審議となっていたが、（一社）青森県解体工事業協会から“4 月 1 日付で全解工連の賛助会員として入会したので挨拶に来たいと連絡があったが事実か”との問い合わせがあった。事実と異なるので経緯報告を求めたところ、本部と地方営業部との意思の疎通が不十分であったこと、それに対するお詫びと再発防止策を講じる旨の回答があった。」

[井上議長]：「事務局から嚴重注意をしてもらいたい。その上で、悪質な行為ではなく反省の色も見える。資本金の額をみても会社はしっかりしているようだ。」

審議の結果、㈱Archi Village の賛助会員入会を出席理事全員一致で承認した。入会日は

令和 8 年 6 月 1 日とすることが付帯決議された。

第 4 号議案 令和 8 年度研究助成金支給及び令和 7 年度分の研究発表会について

議長の指示により小山理事が資料 66-27 に基づき、令和 8 年度研究助成金支給及び令和 7 年度分の研究発表会について説明した。

[小山理事]:「理事会前の本日 13 時から令和 8 年度の研究助成金支給審査委員会を開催し 5 件の申請について審査した。申請内容に特に問題はなく、5 件の申請金額の総額が 280 万円で 300 万円の予算内なのですべて満額の支給としたい。また、令和 7 年度分の助成に対する研究発表会を令和 8 年 8 月 24 日に鉄鋼会館で開催する。資料 66-27 は令和 8 年度研究助成金支給（案）及び令和 7 年度分の研究発表会開催（案）である。」

審議の結果、研究助成金支給審査委員会提出の令和 8 年度研究助成金支給（案）及び令和 7 年度分の研究発表会開催（案）を出席理事全員一致で承認した。

第 5 号議案 安全優良職長厚生労働大臣顕彰候補者の推薦ブロックについて

議長の指示により岩元事業部主任が資料 66-28 に基づき安全優良職長厚生労働大臣顕彰候補者の推薦ブロックについて説明した。

[岩元事業部主任]:「資料 66-28 は過年度の安全優良職長厚生労働大臣顕彰受賞候補者の一覧である。順番でいくと次は関東ブロックとなる。令和 8 年度の候補者推薦ブロックについて審議いただきたい。」

審議の結果、令和 8 年度の安全優良職長厚生労働大臣顕彰候補者の推薦ブロックは、関東ブロックとすることを出席理事全員一致で決議した。

第 6 号議案 全解工連 青年部会第 1 回全国大会の開催について

議長の指示により庄司事務局長が資料 66-29 に基づき、全解工連 青年部会第 1 回全国大会の開催について説明した。

[庄司事務局長]:「資料 66-29 は全解工連 青年部会第 1 回全国大会の開催通知の写しである。6 月 17 日から開催される国際 建設・測量展への全解工連出展に際し、運営及び集客で青年部会に全面協力をいただいている。それに伴い 6 月 17 日に全国の青年部が一堂に会して交流をしようということになり、ブロック代表者からせつかつくならば全国大会の開催としてはどうか、という意見が出された。令和 8 年度の事業計画及び予算で青年部の全国大会を組み込んでいるので、会長及び 4 副会長に承認いただき全国大会開催通知を発出した。事後承認となるが承認いただきたい。」

[木村副会長]:「前回の理事会で坂田理事から青年部の活動に親会からも一定の支援ができないかという提案をいただいた。事務局からも説明があったように、事業計画には組み込まれているので理解いただきたい。概算費用はどうか。」

[庄司事務局長]:「総額 250 万円で、そのうち 50 万円を参加者負担、200 万円を全解工連で支出する予定である。」

審議の結果、全解工連 青年部会第 1 回全国大会の開催を出席理事全員一致で承認した。

第 7 号議案 登録解体工事講習実施地の追加とそれに伴う令和 8 年度事業計画及び令和 8 年度収支予算の修正について

議長の指示により庄司事務局長が資料 66-30 に基づき、登録解体工事講習実施地の追加とそれに伴う令和 8 年度事業計画及び令和 8 年度収支予算の修正について説明した。

[庄司事務局長]:「令和 8 年度の登録解体工事講習は 8 会場で 1,400 人を予定していたが、4 月 7 日の受付開始後 10 数分で定員を超える会場が出てきて、さすがに想定外であり苦情も予想されることから、会長に承認いただき急遽 14 会場で定員 2,920 人に増やした。それでも大阪の 1 会場を残した 13 会場で満員となり受付終了となっている。また、それに伴い令和 8 年度の事業計画と収支予算を修正した。」

[井上議長]:「想定外の支出があったということではなく、収入の上振れなので問題ないのではないか。」

審議の結果、登録解体工事講習実施地の追加とそれに伴う令和 8 年度事業計画及び令和 8 年度収支予算の修正を出席理事全員一致で承認した。

第 8 号議案 役員の選出に関する規程の改正について

議長の指示により庄司事務局長が資料 66-31 に基づき、役員の選出に関する規程の改正について説明した。

[庄司事務局長]：「資料 66-31 は役員の選出に関する規程の改正（案）である。第 4 条の役員の選任方法の中に立候補の規定がある。現行では 2 カ月前までに理事会に書面で提出すれば正会員ならば誰でも立候補できることになっている。総会等の全解工連の運営に悪意を持って妨害しようとした者が万が一にでも現れた時、それを防ぐ手立てがないので、立候補には正会員 1 名及び理事 1 名の推薦が必要として、かつ 2 名以上の推薦はできないという規定を追加した。また第 10 条にある規程の改廃について、定款との整合性を取るため“社員総会の決議を経て行う”に改めるという案である。」

審議の結果、事務局提出の役員の選出に関する規程の改正案を出席理事全員一致で承認し、6 月 5 日の総会議案とすることを出席理事全員一致で決議した。

第 9 号議案 第 15 回通常総会の議案及び報告事項等について

議長の指示により庄司事務局長が資料 66-32 に基づき第 15 回通常総会の議案及び報告事項等について説明した。

[庄司事務局長]：「資料 66-32 は第 15 回通常総会の議案・報告事項等及び第 8 期理事・監事候補者名簿である。報告事項について、第 13 期事業報告は第 1 号議案で、第 14 期事業計画及び第 14 期収支予算は第 7 号議案で承認された。決議事項は、第 13 期収支決算報告書が第 2 号議案で、役員の選出に関する規程の改正案は第 8 号議案で承認された。残りの、任期満了に伴う理事及び監事の選任に関する件及び名誉会員の推薦に関する件について審議いただきたい。」

[堀井理事]：「堀井は理事に立候補する意思があつたが受け付けられないということか。」

[庄司事務局長]：「立候補は規定により、2 カ月前までに理事会に届け出る必要があるのだから受け付けられないということになる。」

[堀井理事]：「事務局から事前に説明がほしかった。」

審議の結果、事務局提出の第 15 回通常総会の議案及び報告事項等を出席理事全員一致で承認した。

第 10 号議案 国土交通大臣登録試験及び国土交通大臣登録講習の登録更新について

議長の指示により庄司事務局長が資料 66-33 に基づき、国土交通大臣登録試験及び国土交通大臣登録講習の登録更新について説明した。

[庄司事務局長]：「解体工事業に係る登録等に関する省令第 7 条の 5 の規定による登録講習である解体工事施工技術講習、建設業法施行規則第 18 条の 7 の規定による登録講習である登録解体工事講習、解体工事業に係る登録等に関する省令第 7 条の 5 の規定による登録試験及び建設業法施行規則第 7 条の 7 の規定による登録解体工事試験である解体工事施工技士試験は、それぞれ令和 8 年が 5 年の更新時期となる。公益事業の柱でもあるので更新について承認いただきたい。資料 66-33 は、令和 3 年に更新した際の登録証の写しである。」

審議の結果、解体工事業に係る登録等に関する省令第 7 条の 5 の規定による登録講習、建設業法施行規則第 18 条の 7 の規定による登録講習、解体工事業に係る登録等に関する省令第 7 条の 5 の規定による登録試験及び建設業法施行規則第 7 条の 7 の規定による登録解体工事試験の登録更新を出席理事全員一致で承認した。

第 11 号議案 第 17 回通常総会の開催地について

議長の指示により庄司事務局長が第 17 回通常総会の開催地について説明した。

[庄司事務局長]：「令和 9 年の総会開催地は石川県で決定しているが、会場の確保等の都合で

開催2年前に開催地を決定するという申し合わせがされているので、第17回通常総会の開催地について審議いただきたい。」

[木村副会長]：「以前に現地の協会の子承は取れたがブロック内で開催が続くということで廃案になった沖縄県はどうか。」

[平副会長]：「ブロック会議で審議されていないのは同じである。」

[木村副会長]：「福岡県での開催から5年経過するので良いのではないか。」

審議の結果、事第17回通常総会開催地の第1候補地を沖縄県とすることを出席理事全員一致で決議した。

[その他申合せ等]

次々回の理事会は令和8年7月27日(月)午後2時から全解工連事務局で開催することが申し合わされた。

[閉会]

以上をもって議事のすべてが終了し、午後4時45分に議長の閉会宣言によって第66回理事会を閉会した。

以上の議決を明確にするため、代表理事及び出席した監事がこれに署名捺印する。

令和8年5月15日

公益社団法人全国解体工事業団体連合会 第66回理事会

代表理事

井上尚 

監事

大森孝樹 

監事

喜讀宣友 